

TG fast-PAGE mini 取扱説明書



TG fast-PAGE mini は泳動時間が約 35 分と高速で、使用期限は 8~10 ヶ月と長期保存可能なポリアクリルアミドゲルです。Tris-Glycine SDS 泳動バッファーを使用して SDS-PAGE (変性 PAGE) を実施することができ、SDS を含まない Tris-Glycine Native 泳動バッファーを使用すると Native-PAGE (非変性 PAGE) を実施することができます。

1.ゲルの仕様

担体 ポリアクリルアミド

ウェルの形状と最大サンプル添加量

ゲル濃度

アイソクラティック 8%, 10%, 12%, 14%
グラジエント 8-16%, 4-20 %, 10-20%

1mm 厚 8 well : 33 μ l 10 well : 25 μ l
12 well : 15 μ l 15 well : 10 μ l
2-D well: 300 μ l
1.5mm 厚 10 well : 33 μ l 15 well : 15 μ l

ゲルのサイズ 8×8 cm

ゲルの厚さ 1.0 mm 、 1.5mm

ゲルカセットのサイズ 10×10 cm

泳動装置 セイフティー・セルミニ STC-808

泳動バッファー (SDS-PAGE)

Tris-Glycine SDS 泳動バッファー

保存温度と使用期限

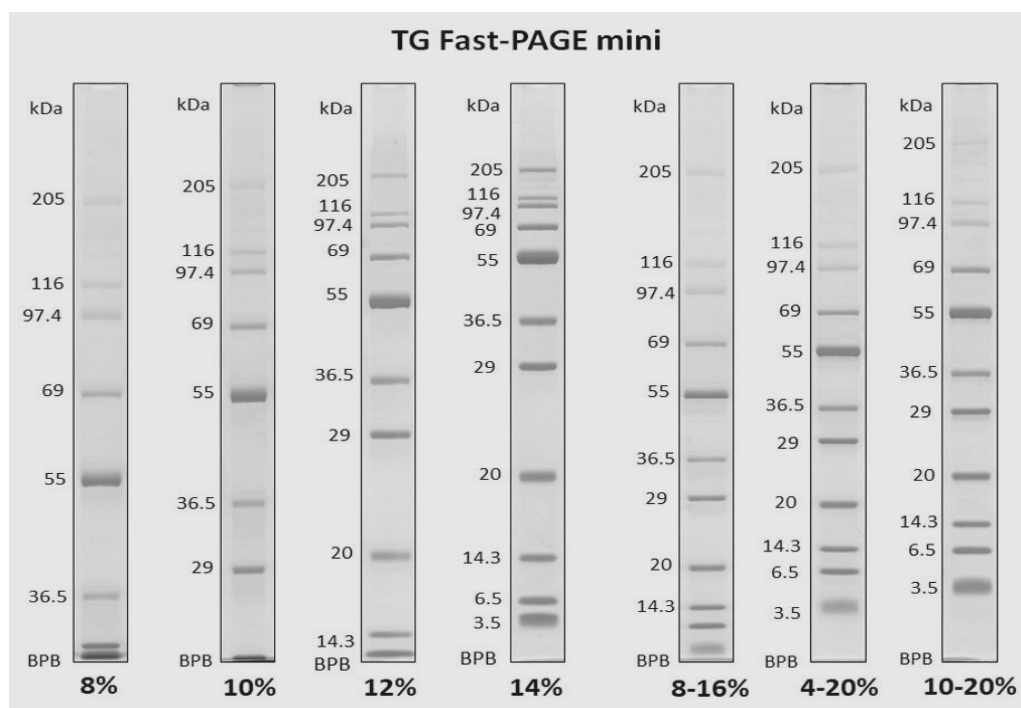
冷蔵 (4℃) , 凍結厳禁

8%, 10%, 12%, 8-16% : 製造後 10 ヶ月

14%, 4-20%, 10-20% : 製造後 8 ヶ月

2. 分離パターン

SDS-PAGE (変性 PAGE)



3. SDS-PAGE（変性 PAGE）の泳動方法

使用する電気泳動装置

Cat. No. 03-101, セイフティ・セルミニ STC-808

使用するバッファー

Cat. No. 06-361 Tris-Glycine SDS バッファーキット

Cat. No. 06-363, Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (2×), 20ml, 1本 冷蔵 4℃保存

Cat. No. 06-364, Tris-Glycine SDS 泳動バッファー (10×), 500ml, 1本 室温保存

プロトコール

1. Tris-Glycine SDS サンプルバッファーには還元剤が含まれていません。還元条件で泳動する場合は、5 mlの Tris-Glycine SDSサンプルバッファー (2×) 注-1、に対して 0.25 mlの2-メルカプトエタノール、または 0.1 gのジチオトレイトールを加えてから次の試料溶液を調製してください。還元剤入りサンプルバッファーは使用時に新しく調製してください。

注-1 : Tris-Glycine SDS サンプルバッファーは加熱 (30~40℃) して完全に溶解して使用してください。

2. 試料と Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (2×)を (1 : 1) の割合で混合し、95℃で 5分間加熱して試料溶液を調製します。
3. 50ml のTris-Glycine SDS 泳動バッファー (10×) に450mlの純水を加えて混合します。泳動装置の上部バッファー槽（一極、内側）および下部バッファー槽（+極、外側）にそれぞれ適量の Tris-Glycine SDS泳動バッファー (1×)を注入します。上部バッファーはゲルカセットのウェル上端より 3~4 mm上の位置まで注入します。TEFCO セイフティ・セルミニ、STC-808の場合、上部バッファー槽に約 200 ml、下部バッファー槽に約 300 mlを使用します。
4. ウェルに試料溶液を添加します。タンパク質の負荷量はクマシーブルー染色を行う場合、通常 1バンド当たり 0.1 - 0.5 µg が適量です。
5. 下記の泳動条件に従って泳動を行います。

電 圧 : 230V 定電圧
 予想電流 : 開始時 : 約50 mA
 (1mm厚ゲル) 終了時 : 約20 mA
 泳動時間 : 約35 分

注意) 電圧は使用するゲルの厚さ、枚数に関わらず230Vに設定します。

6. プロモフェノールブルー (BPB) がゲル下端付近まで移動したら電源を切り、泳動を終了します。
7. 泳動終了後、ゲルをカセットから取り出し、必要に応じて、固定、染色、ブロッティング等の操作を行います。

バッファー組成 (SDS-PAGE)

| Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (1×) | | Tris-Glycine SDS 泳動バッファー (1×) | |
|---------------------------------|----------|-------------------------------|--------|
| Tris-HCl, pH6.8 | 63 mM | Tris base | 25 mM |
| Glycerol | 10 % | Glycine | 192 mM |
| SDS | 2 % | SDS | 0.1 % |
| BPB | 0.0025 % | | |

4. Native PAGE（非変性 PAGE）の泳動方法

使用する電気泳動装置

Cat. No. 03-101, セイフティ・セルミニ STC-808

使用するバッファー

Tris-Glycine Native サンプルバッファー (2x) 冷蔵 4℃保存

Tris-Glycine Native 泳動バッファー (10x) 室温保存

下記に記載のバッファー組成に従って調製してください。

- 試料と Tris-Glycine Native サンプルバッファー (2x) を (1 : 1) の割合で混合します。加熱しないでください。
 - Tris-Glycine Native 泳動バッファー (10x) を純水で 10 倍に希釈し、Tris-Glycine Native 泳動バッファー (1x) を調製します。泳動装置の上部バッファー槽（－極、内側）および下部バッファー槽（＋極、外側）にそれぞれ適量の Tris-Glycine Native 泳動バッファー (1x) を注入します。上部バッファーはゲルカセットのウェル上端より 3～4 mm 上の位置まで注入します。TEFCO セイフティ・セルミニ, STC-808 の場合、上部バッファー槽に約 200 ml、下部バッファー槽に約 300 ml を使用します。
 - ウェルに試料溶液を添加します。
 - 下記の泳動条件に従って泳動を行います。

| | | |
|----------|---|--------------|
| 電圧 | : | 230V 定電圧 |
| 予想電流 | : | 開始時 : 約50 mA |
| (1mm厚1枚) | : | 終了時 : 約20 mA |
| 泳動時間 | : | 約35 分 |
- 注意：電圧は使用するゲルの厚さ、枚数に関わらず230Vに設定します。
- ブロモフェノールブルー（BPB）がゲル下端付近まで移動したら電源を切り、泳動を終了します。
 - 泳動終了後、ゲルをカセットから取り出し、必要に応じて、固定、染色、ブロットイング等の操作を行います。

バッファー組成（Native-PAGE）

| Tris-Glycine Native サンプルバッファー (1x) | | Tris-Glycine Native 泳動バッファー (1x) | |
|------------------------------------|---------|----------------------------------|--------|
| Tris-HCl, pH6.8 | 63 mM | Tris base | 25 mM |
| Glycerol | 10% | Glycine | 192 mM |
| Bromophenol blue | 0.0025% | | |

テフコ株式会社

〒192-0361

東京都八王子市越野 5-5

TEL 042-676-3513

FAX 042-676-9150

<http://www.tef.co.jp>